

# 近藤秀二議員逝去される

市議会議員近藤秀二氏が、在職中の1月21日に逝去されました。享年60歳でした。同氏は、綾瀬市議会議員に平成7年に初当選されて



故近藤秀二議員

以来、4期14年余にわたり議員を勤められました。この間、民意を代表する真の議会人として、議長を始め、総務常任委員会委員長、基地対策特別委員会委員長など多くの重責を担われました。在職中は、優れた知性と先見性、そして、その洞察力に加え、清廉潔白なる人柄をもって、持ち前の手腕を遺憾なく発揮され、縦横無尽の御活躍をされました。ここに謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

## 議会の動き

11月

20日 議会全員協議会・議会運営委員会・議会報編集委員会・年末年始の飛行停止に関する要請行動(南関東防衛局ほか)

20日 議会全員協議会  
26日 大阪府茨木市議会議員来市(部活動による学校変更制度)

28日 県央八市議会議員合同研修会(綾瀬市文化会館)

1月

終日)・議会全員協議会・議会報編集委員会

27日 12月定例会本会議(初日)・議会運営委員会・議会全員協議会

29日 議会報編集委員会

12月

2日 市民福祉常任委員会

3日 経済建設常任委員会

4日 総務教育常任委員会

8日 基地対策特別委員会

10日 12月定例会本会議(第2日)

11日 12月定例会本会議(第3日)・議会運営委員会

16日 12月定例会本会議(最終)

9日 議会報編集に関する議員視察(南足柄市)・兵庫県川西市議会議員来市(深谷中央特定土地区画整理事業)・秋田県由利本荘市議会議員来市(自治基本条例・木造住宅耐震化補助事業)

# 市政に対する一般質問

## 学校への防犯カメラ設置と市内防犯灯にLED導入を

公明党 井上 賢二

問 平成20年5月に公表された9つの政策の実施状況の中に、犯罪を未然に防止するため、防犯パトロールの支援や防犯カメラ等の設置、防犯灯の増設を推進するとある。児童・生徒の安全確保は急務であり、小・中学校の防犯対策に積極的に取り組む、不安を一日も早く解消すべきと考え

る。小・中学校での防犯カメラの犯罪抑止効果は大いに期待できると思うが、設置に向けた検討状況は。また、LED(発光ダイオード)防犯灯の開発が進み、その明るさに驚いている。導入した場合のメリットとデメリット、市内での普及をどのように考えるか。

答 小・中学校には、夜間・休日の不審者侵入防止対策として空間センサーを設置して

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。12月定例会では、12月10日・11日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です。(掲載は質問順、5ページまで続きます)

## 市民にとってよりわかりやすい市役所を目指す工夫を

安藤多恵子

問 市役所は、市民の目線に立ち、市民へのサービスを的確に伝え、満足度を高める必要がある。さまざまな市民サービスが、ワンストップで行えるような仕組みやシステムが必要と思うが市の考えは。窓口の最前線である受付は、カウンターの外に出るなど、積極的に対応してはどうか。

答 外国籍市民が増えているが、掲示板に外国語で表記するなどの工夫が必要ではないか。また、職員は専門性を持って仕事をしているが、縦割りとなり、市民が戸惑う場面が見受けられる。多くの情報を持っている所属長を窓口の前に配置して対応しては。

答 市役所全体を市民に分かりやすくするためには、市民目線の見方が重要である。

## 保育所不足で働くことができない保護者へ緊急対策を

日本共産党 上田 博之

問 保育園に預けたくても預けられない待機児童数は、209人と昨年比で倍増している。今後も一定の利用者が見込まれ、既存保育園の増改築による定員増だけでは需要に対応できない。この事態を認識し、おとぎ保育園仮設園舎の継続使用や「ファミリースポーツセンター事業」の機能強化、さらに今年4月から実施可能となった、自宅で3

歳未満の乳幼児を預かる「保育ママ制度」に取り組みなど、保育の質を確保しながら、緊急対策の検討を進めないか。保育所不足で、働けない親の願いに寄り添ってほしい。

答 待機児童解消のため、定員の弾力化を積極的に進めるとともに、さくらチャイルドセンターの開園など、平成20、21年度事業で、79人の定員増を図った。おとぎ保育園仮設園舎の継続使用は、県などと調整を行ったが、市街化調整区域であることや建築基準法の規制があることから不可能であった。ファミリースポーツセンター事業の機能強化や保育ママ制度も取り組まなければならない課題であると認識しており、早急に総合的な緊急対策を検討しなければならぬと考えている。

(ほかに「学校給食のあり方を考える」「低所得階層の増大に手をさしのげる温かい市政を」「街路樹の命を大切にしたい」を質問)



新たな墓地需要に応えるため、本蓼川墓園に普通納骨壇と合葬納骨壇を備えた納骨堂と管理棟が整備されました